

10 加法と減法の混じった計算

☆3つ以上の数の計算を考えよう。

$$\begin{aligned}
 & (-5) + (+2) - (-4) - (+6) \\
 = & (-5) + (+2) + (+4) + (-6) \\
 = & (-5) + (-6) + (+2) + (+4) \\
 = & (-11) + (+6) \\
 = & -5
 \end{aligned}$$

・加法だけの式にする
 ・たす順番を変える
 ・正・負のそれぞれ和を求める。

$$\begin{array}{cccc}
 (-5) & + & (+2) & + & (+4) & + & (-6) \\
 \downarrow & & \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\
 -5 & & +2 & & +4 & & -6
 \end{array}$$

← という。

-5、-6を 、+2、+4を という。

加法と減法の混じった式の計算

- ① 正の項の和、負の項の和をそれぞれ求めて計算するのが早い
- ② (-5) と (+5) のキャンセルを使ってもよい

<練習1> 次の式を加法だけの式になおして計算しなさい。

① $(+2) - (-9) + (-5)$ ② $(-4) + (+5) - (-6) + (-7)$

=
=
=

③ $(-3) + (-4) - (-6)$ ④ $(+6) - (-2) + (+3) - (+5)$

=
=
=

<約束> $(+3) + (-5) + (-2) + (+5)$

$$\begin{aligned}
 = & 3 \quad (-5) \quad (-2) \quad +5 \\
 = & (-7) + 8 \\
 = & 1
 \end{aligned}$$

大事な約束
 たし算では () と + が省略できる
 先頭の ^{プラス} - も省略できる

<練習2> 負の項に0をつけて、次の計算をしなさい。

① $6 - 9$ ② $-8 + 4$ ③ $-15 - 8$

= = =

④ $3 - 5 - 4$ ⑤ $-2 + 8 - 6$ ⑥ $1 - 2 + 3 - 4$

= = =

= = =

<例1> 加減の混じった計算

$$-12 - (-18) + (-21) + 10$$

$$= (-12) + 18 + (-21) + 10 \quad \dots \quad () \text{ と } + \text{ を省略}$$

$$= (-33) + 28 \quad \dots \quad \text{負の数どうし} \\ \text{正の数どうし計算}$$

$$= -5$$

<練習3> 次の計算を、() と + を省略した式にしてから計算しなさい。

① $(+6) - 10 + (-15)$ ② $-12 + 8 - (-14)$ ③ $9 - 12 + 7 - 13$

= = =

= = =

= =

④ $-8 - 4 + (-1) - (-7)$ ⑤ $-24 - (-15) + (-35) + 24$

= =

= =

= =

